

株式会社ジェイコム東京 すみだ・台東局 放送番組審議会 議事録

2016 年度の放送番組審議会は、2017 年 3 月 21 日(火)に株式会社ジェイコム東京
すみだ・台東局で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席

浅野 美恵子 様	酒井 孝昌 様
前田 恵子 様	松本 潔 様

(50音順)

ご欠席

高橋 正実 様	柳川 清一 様
---------	---------

審議会会長選任

会長に松本様を選任した。

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みにつき、報告があった。

【審議 質疑応答】(松本会長による進行)

■『レギュラー番組』について

(委員)

墨田区広報番組「ウィークリーすみだ」で取り上げていない内容を「デイリーニュース」で放送していたりするので、番組を見た人は、もっと墨田区を好きになってくれる。

地域情報番組が1年ごとに充実しているのを感じるので、商店街だけでなく町会単位で、台東区の街の歴史も研究して紹介してほしい。

(事業者)

調整後、適切に対応させて頂く。

(委員)

浅草五丁目は団結力があり、行事に協力的な地域なので、街中でケーブルテレビに出ていると声をかけられることもあり、影響の大きさを実感している。より一層街の景色、雰囲気を紹介して、台東区をPRしてほしい。タイムリーな情報は「デイリーニュース」で取り上げていて、「もっとセレクション台東・すみだ」では一般人では知りえない工場施設の紹介をしていたが、墨田区の物作り工場をもっと深掘りしてほしい。

■災害時の対応(放送体制)について

(委員)

昨年、熊本地震があった時は何とか放送ができたようだが、スタジオが使えなくなった場合、放送はできるのか。

(事業者)

全国のJ:COMどこからでも放送可能なようにネットワーク化しており、一昨年の茨城県常総市の水害では、エリアの土浦事務所からではなく、千葉県浦安市のスタジオからL字放送を行った。

(委員)

停電で放送自体が出来なくなった時の危機管理対応は。

(事業者)

BCP マニュアルがあり、放送事業者として行政とも情報連携をしている。
自社の広報車を使用して地域住民への情報告知も可能。

(委員)

大雨のときは隅田川の台東区側はカミソリ堤防が多いので心配。
地域のテレビ局として行政無線も含め、災害情報をいち早く流してほしい。

(事業者)

定点カメラの設置位置については調整が必要だが、行政から情報をいただけるシステムを組んでいるので情報発信は可能。

東日本大震災時も仙台では自家発電機でL字放送した。
熊本地震でも経験済みなので、より良い情報をいち早く流すことができる。

(委員)

コミュニティ FM の研究会を墨田区でも立ち上げたので適宜情報発信できるように、緊急体制作りと地域の活性化も含め、葛飾区を参考にして検討してほしい。

(事業者)

行政とも連携を図りながら PR も含め協力していくことは可能。

5. 閉会 (事務局)

各委員からの貴重なご意見、ご要望を、今後の番組制作に活かしていく所存である。

以上